

# ペアで問いを立て対話型論証を進めていく 高校日本史の授業実践：古川剣士先生（岩手県立盛岡第三高等学校）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。  
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

## (ご紹介)



古川 剣士

ふるかわ はやと

岩手県立盛岡第三高等学校  
地歴・公民科（日本史） 教諭



前任校勤務時代，岩手県立総合教育センター研究協力校の一員として，アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業実践と理論構築に努める。

旺文社主催の「第1回学びを変える未来の学参企画」（2019年）で『レキシク』が敢闘賞受賞。

全国歴史教育研究協議会等でも実践発表を行っている。

近年では，清水書院『Research』（2023.1st）で「ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業～〈日本史探究〉の文化史学習を刷新する！？～」が掲出されている。



## No17(新著の紹介)

#12 松下佳代他著

『対話型論証ですすめる探究ワーク』

前著・理論編『対話型論証による学びのデザイン』を、  
さまざまな実践事例をもとに説くワークブック！



No178

# 探究の問いの立て方



内田洋行New EDUCATION EXPO2023基調講演(2023年6月10日)  
「「主体性」と「探求の力」が求められる一個人化・個性化の現代社会」

溝上 慎一

(桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学教授)



# Cf) 清水書院『Research』(2023.1<sup>st</sup>) 掲載

## ★皆川雅樹の授業探訪⑦

### 「ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業」

# Research

2023.1st

内容解説資料 教員用資料

特集 新課程に向けて  
どんな授業に取り組むか

- ・皆川雅樹の授業探訪⑦  
定期試験の言葉遣い、どうしていますか? 2
- ・外部関係教材をつかってアクティブ・ラーニング!  
津田沼高校 利田孝之先生のご授業 9
- ・皆川雅樹の授業探訪⑦  
ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業 15
- ・教科書 Research 供給教科書の変更点 22



清水書院

本社 〒102-0072  
東京都千代田区墨田橋3-11-6  
営業部 TEL: 03-5213-7151 FAX: 03-5213-7150  
編集部 TEL: 03-5213-7155-6  
大阪支社/札幌支社/九州支社  
URL: <https://www.shimizu-shoin.jp>

#### 皆川雅樹の授業探訪⑦

### ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業 ～〈日本史探究〉の文化史学習を刷新する!?～

訪問先: 岩手県立盛岡第三高等学校 (岩手・公立) ※2022年11月に取材

取材した授業: 日本史B

担当教員: 古川剣士先生 (教員6年目, 写真)



#### ◆取材者プロフィール

皆川 雅樹 (みながわ まさき)

産業能率大学経営学部准教授。博士 (歴史学)。専修大学・上智大学兼任講師 (教職課程)。元専修大学附属高校・法政大学第二高校教諭 (地理歴史科)。アクティブラーニングを意識し、ファシリテーション、KP法などを駆使して、授業などの学びの場づくりに取り組む。著書『日本古代王権と唐物交易』(単著, 吉川弘文館)、『アクティブラーニングに導くKP法実践』(川崎直との共編著, みくに出版)、『歴史教育「再」入門』(前川修一・梨子田喬との共編著, 清水書院)、『持続可能な学びのデザイン』(編著, 清水書院)、『失敗と越境の歴史教育』(宮崎亮太との共編著, 清水書院)、『唐物』とは何か (河添房江との共編著, 勉誠出版) など。

@ご感想・ご意見などは下記メールアドレスをお願いします。 MINAGAWA\_Masaki@hj.sanno.ac.jp

次に、古川先生が生徒1名を指名し、考えた内容の発表をうながした。「義満は、従来の地位を超越する存在として自身を示すために、金閣を建てた。金閣の1階は貴族をイメージする寝殿造、2階は寝殿造と禅宗様の折衷様、3階は武士をイメージする禅宗様にすることで、武士が貴族の上位にいることを暗に示した。また、金閣の最上部にある鳥は鳳凰で、徳の高い君主が天子の位につくと現れる存在であり、経緯にちなみ天子になろうとしていることを示す」(取材要約)と答えた。「これで授業を終らせて良いくらいですね、たくさんのヒントがある意見でした」と古川先生はコメントした。

#### ⑤ 補足説明と復習ペアワーク (約30分)

ここから、古川先生による補足説明とペアによる学んだことの共有のワークが繰り返される。

<補足説明1: 鳳凰の意味>

金閣の最上部にある鳳凰について、為政者が善政をしたときに現れる鳥として紹介した。また、平安時代の国風文化のところで触れた平等院鳳凰堂を示し、藤原朝について復習した。

ここで、ここまで考え学んだ内容について、ペアで共有する時間をとる (約30秒間)。

<補足説明2: 足利義満の歴史の評価>

義満の歴史的评价について、一説として今谷明氏の「王権革命」説<sup>2</sup>を古川先生は紹介した。また、金閣の3層構造の意味について「1階は金色ではない寝殿造、2階は金色の武家造、3階は金色の中国風の禅宗様。最上部の鳳凰は義満自身を表しているのではないが、義満は権力を建物に可視化したのでは。ちなみに、日明貿易のときに義満は明の皇帝から何と呼ばれたか」と生徒に問いかけ、「日本国王」という答えを復習した。

ここで、ここまで考え学んだ内容について、ペアで共有する時間をとる (約30秒間)。

<補足説明3: 金閣に見る思想>

金閣の1階およびその前の池と、平泉の毛越寺の



【資料2】單元ポートフォリオシート。単元の学習(学修)前・中・後それぞれで問いや仮説の記録をとっていく。最後の「本資料的にあなたが追究したい問いは?」をして、その答え(「追跡」を見出そう!)のところで問いや見解がある場合は、定期試験の設問として採用される。

それではご覧ください

# 【対話型論証モデルの実践】 ～対話型論証の在り方を ペアワークから考える～

岩手県立盛岡第三高等学校

教諭・地歴公民科(日本史) 古川 剣士(ふるかわ はやと)

(Mail: [ptf29-furukawa-hayato@iwate-ed.jp](mailto:ptf29-furukawa-hayato@iwate-ed.jp))

©Iwate Prefectural Morioka Third High School



# 流れ

- 0 勤務校・自己紹介
- 1 現在取り組んでいること
- 2 対話型論証に関わる3つの問い(関心テーマ)
- 3 これから取り組んでみたいこと



# 0 勤務校紹介

- 岩手県立盛岡第三高等学校

(HP: <http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/>  
note: <https://mo3-hs.note.jp/> )

- SRH (Science Research High school) ※H28まではSSH

→本校独自のカリキュラム(運営母体:経営企画課)

「科学的思考力」や「発展的対話力」の育成に寄与する学び

- 「参加型授業」の推進と発展

→“生徒が主語の学び”

対話力の向上に資する学び



# 0 自己紹介

- 古川 剣士(ふるかわ はやと)
- 本校勤務3年目(教員歴:8年目)
- 地歴公民科教員(専門:日本史)
- 現在は、2年文系日本史探究と3年文系日本史Bを担当
- 経営企画課所属(2学年総探の担当)



# 1 現在取り組んでいること

- 「問い」を重視する日本史教育（学修）の在り方
- 総探と教科教育の融合（教科横断的な学びの充実）

- 「対話型論証モデル」の実践と研究  
（9月初旬に県立高校で提案授業の実践予定）



## 2 対話型論証

★対話型論証＝ある問題に対して、他者と対話しながら、  
根拠をもって主張を組み立て、結論を導く活動

※詳細→①松下『対話型論証による学びのデザイン 学校で身につけて  
ほしかった一つのこと』勁草書房、2021年

②松下他著『対話型論証ですすめる探究ワーク』同社、2022年  
実践例→美那川雄一「対話型論証による歴史概念の構築」『教育科学  
社会科教育』明治図書、2022年8月号(No.760)

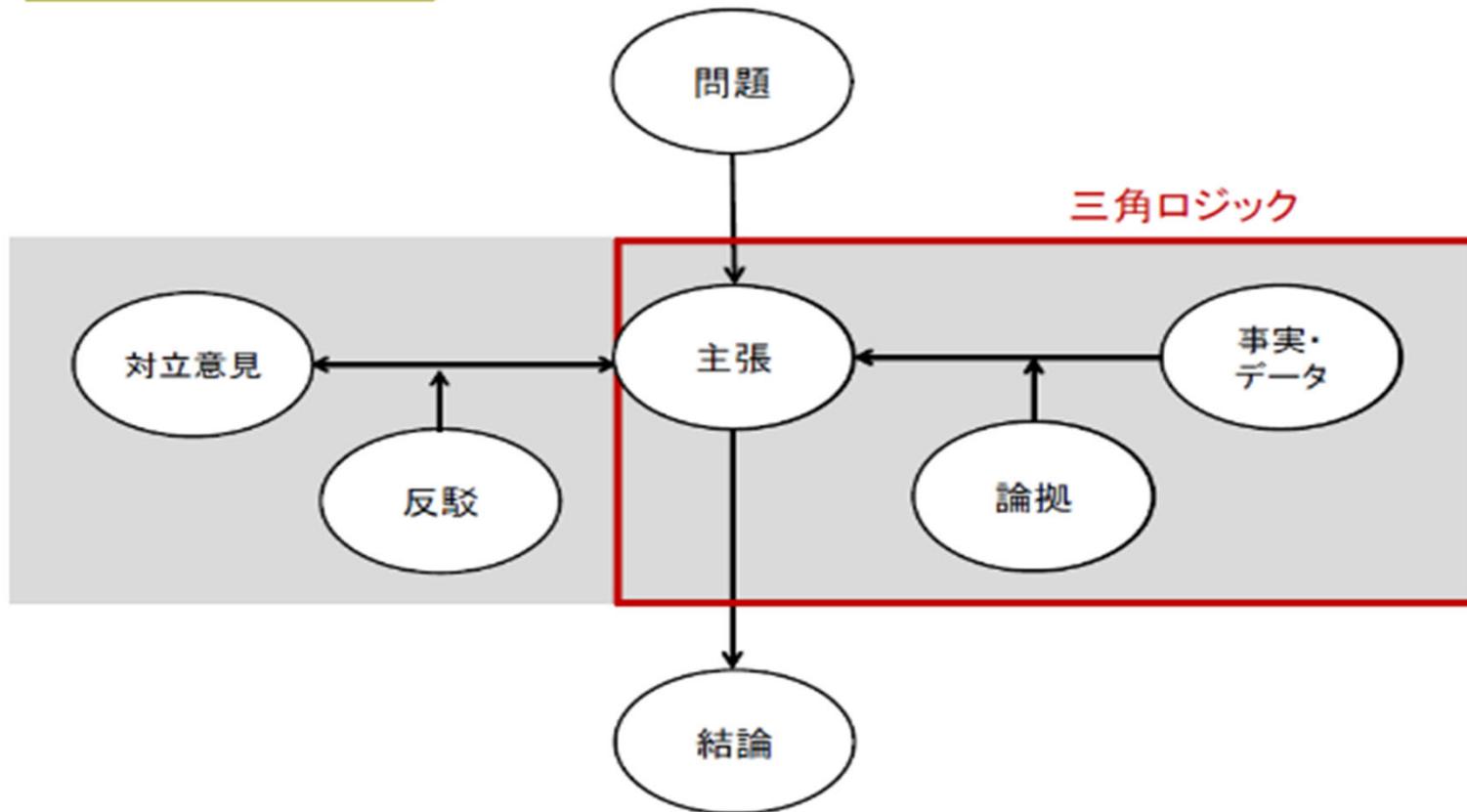
本チャンネル→「No17(新著の紹介) #12 松下佳代他著『対話型論証  
ですすめる探究ワーク』」

( [https://www.youtube.com/watch?v=5xkJZC\\_9m64](https://www.youtube.com/watch?v=5xkJZC_9m64) )



# 対話型論証モデル

## 論証モデル



## 2 対話型論証に関わる3つの問い (関心テーマ)

(1) 対話型論証を効果的に実践するためには？

(2) 対話型論証を展開するうえで不可欠な「問い」は  
どのように機能すべきか？

(3) 総合的な探究の時間(総探)や各教科・科目において  
対話型論証はどのように活用可能か？



# (1) 対話型論証を 効果的に実践するためには？

- 中々ハードルが高そう...！？  
いきなりこのモデルを実践することは...△
- 「活動あって学びなし」を生み出さず、「誰もが取り組める」ものに！
- 私なりに、このモデルを展開する(効果的に実践する)ために  
すべきことが何かを考えてみた。



(1) 対話型論証を  
効果的に実践するためには？

- ① ペア内での対話型論証の実践  
＝プレ・対話型論証の実践
- ② グループでの対話型論証の実践



# ① ペア内での対話型論証の実践 ＝プレ・対話型論証の実践

個人で立てた「問い」をペアで共有  
→「ペアとしての問い」を立てて、その最適解を  
見出していくために「対話」をしていく。

私(I)だけでなく、私たち(We)の視点で  
問いを立て考えてみる！  
＝「解決すべき(・したい)問い」に昇華させる目的



2年

1 教科書や資料集を、疑問を抱きながら (批判的に) 読んでみよう (=ツッコミをいれながら) ! [4分間]  
→この後、「問い」を立てます (アウトプット: 「問い」を立てる・インプット: 教科書等を批判的に読む)  
※気になる (疑問の残る) 用語や表現をチェックしておこう!

2 今日の「問い」(テーマ) ~疑問を「問い」の形にしてみよう~  
(個人) [3分間] ※最初の問いの設定が最も重要!!

何故横式石室が一般化したのか? ヤマト政権の性格が大きく変化した理由は何? 装飾古墳ができた理由は何? 土師器と須恵器の違いは何? 上下の木柩を着用するようになったのはなぜか?

(今日はグループ! ※3人1組 or 4人1組) [4分間] ※質の高い問いを形成しましょう!  
なぜヤマト政権の性格は大きく変化したのか?

3 日本史プリンシプル その6

=自分たちで「解決すべき(考えたい)問い」(issue)を立てて、協働しながら答えを導き出す!  
⇒脱! 「与えられた問い (problem) をクリア=受け身の学び」

4 問いを解決するための知識・考え方

~以下からはグループワーク~ [20分間]

(1) 立てた問いを解決するために必要な、知識や資料は何か? (←重要な情報収集は命取り!)

- A 日本の情勢
- B 朝鮮半島の情勢

(変化大王中心 → 豪族にその中心) → 勢力分ける

(2) 調べたり、考えたりしたこと

A 有力農民の台頭、地方豪族たちの服属、大王と豪族の連合政権

百姓 → 郡制導入 → 郡制導入 → 郡制導入

B 高麗、百濟、新羅の勢力争い、磐井の乱、ヤマト政権の勢力拡大、新羅の勢力拡大

668年白村江の戦い

(3) 自分たちの「問い」に対する答え(見解)を整理

Ans.) 農民や地方豪族たちが力を持つようになり、反乱などが起きはじめたため、地方支配を強めるためにヤマト政権の性格は大きく変わった。

2年

1 教科書や資料集を、疑問を抱きながら (批判的に) 読んでみよう (=ツッコミをいれながら) ! [4分間]  
→この後、「問い」を立てます (アウトプット: 「問い」を立てる・インプット: 教科書等を批判的に読む)  
※気になる (疑問の残る) 用語や表現をチェックしておこう!

2 今日の「問い」(テーマ) ~疑問を「問い」の形にしてみよう~  
(個人) [3分間] ※最初の問いの設定が最も重要!!

民衆の住む集落に漆がないのはなぜか?  
有力農民が古墳をつくるようになったのはなぜか?

(今日はグループ! ※3人1組 or 4人1組) [4分間] ※質の高い問いを形成しましょう!  
古墳に特色が表れるようになったのはなぜか?

3 日本史プリンシプル その6

=自分たちで「解決すべき(考えたい)問い」(issue)を立てて、協働しながら答えを導き出す!  
⇒脱! 「与えられた問い (problem) をクリア=受け身の学び」

4 問いを解決するための知識・考え方

~以下からはグループワーク~ [20分間]

(1) 立てた問いを解決するために必要な、知識や資料は何か? (←重要な情報収集は命取り!)

- A. とんぼ古墳?
- B. 地位
- C. 時代背景

(2) 調べたり、考えたりしたこと

- A. 装飾古墳(壁画), 群集墳, いんば副葬品
- B. 偉い人
- C. 有力農民層が古墳をつくった、見せる埋葬、隠す埋葬、秦の

(3) 自分たちの「問い」に対する答え(見解)を整理

土地による死亡観が異なり、装飾古墳が多い九州では、古墳が死者の生活場所であるという考えから「見せる埋葬」が行い、近畿では死者との接触を断る、災いを避けるため「隠す埋葬」が行われ、秦との関わりもあってのこと。

# 実践

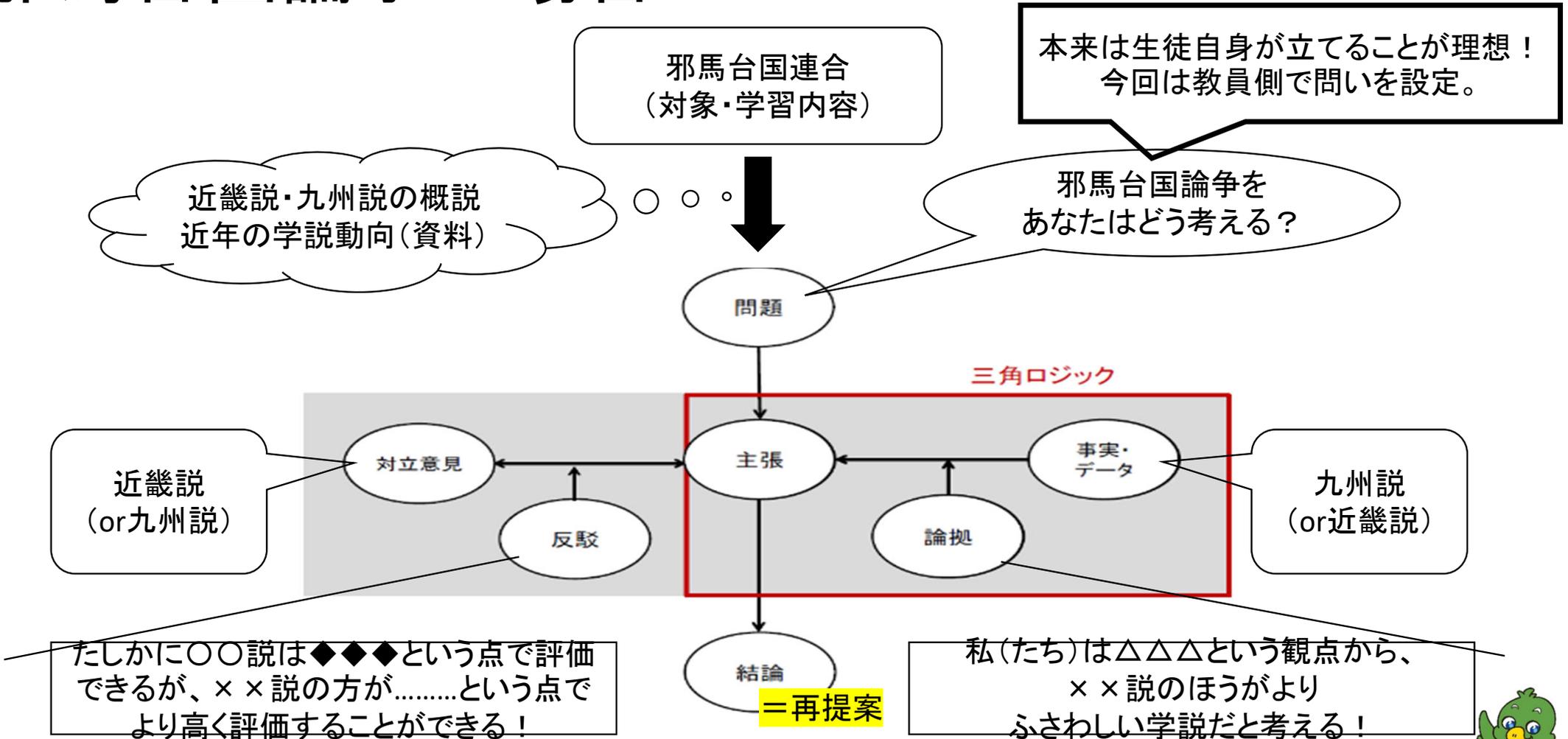
## 「邪馬台国論争を君(たち)はどう考える？」

### 【流れ】

- 邪馬台国連合が、近畿にあったか(近畿説)、九州にあったか(九州説)いまだに議論が分かれる論争を、資料読解の過程を通してどちらの説が妥当か、まずは個人で考えてもらった。
- 近畿説側は、九州説の確からしさも認めながらも、近畿説のほうがより妥当だということ(九州説側も同じように)、ペアで対話してもらった。



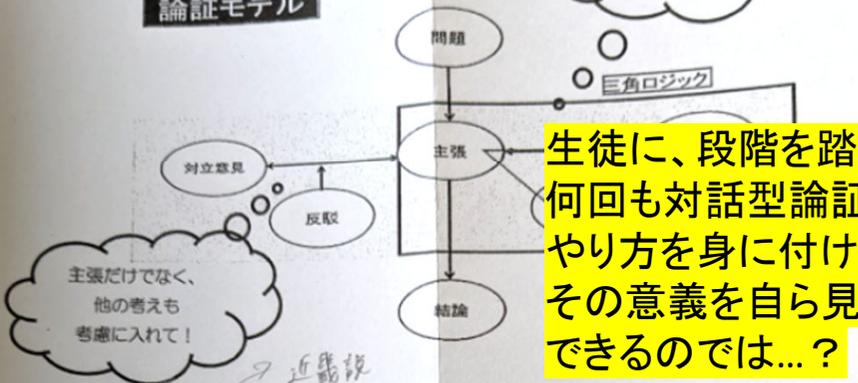
# 邪馬台国論争の場合...



対話型論証

3 あなたは、邪馬台国（連合）がどこにあったと「主張」しますか？

論証モデル



生徒に、段階を踏ませながら  
何回も対話型論証に取り組みさせることで、  
やり方を身に付けるだけでなく、  
その意義を自ら見出すことも  
できるのでは...？

(1) あなたの主張は？ (仮説設定 = 「〇〇〇であると考えて」)

大和説の信頼性が高いと思う。→ (特に奈良県あたり)  
当時の周辺国々の情勢から見ると、魏があの位置を記した可能性が高い  
邪馬壹国(大和国)と書かれて書物も見つかっているため。

(2) その主張を支える事実・データ・論拠は？ (分析・検証 = 「▲▲▲が理由である」)

「魏志倭人伝と大和朝廷の成立」

(3) 他説に対する弁明！ (←反駁する = 他の主張や意見に対して論じ返すこと)

※例：自分の主張が「近畿説」で他が「九州説」のとき、九州説ではダメな理由をきちんと説明する！

(= 「たしかに他説は×××だが、◇◇◇という点で、私は〇〇〇と考える」)

もし、二の書物(魏志倭人伝)が別の物であれば書いてあることは  
事実だが、魏の物だから魏が書いていると考えると方がよいと思う。

(4) ペアで対話！ (検討) ※お互いが同じ主張なら、さらに質の高い内容に仕上げよう！

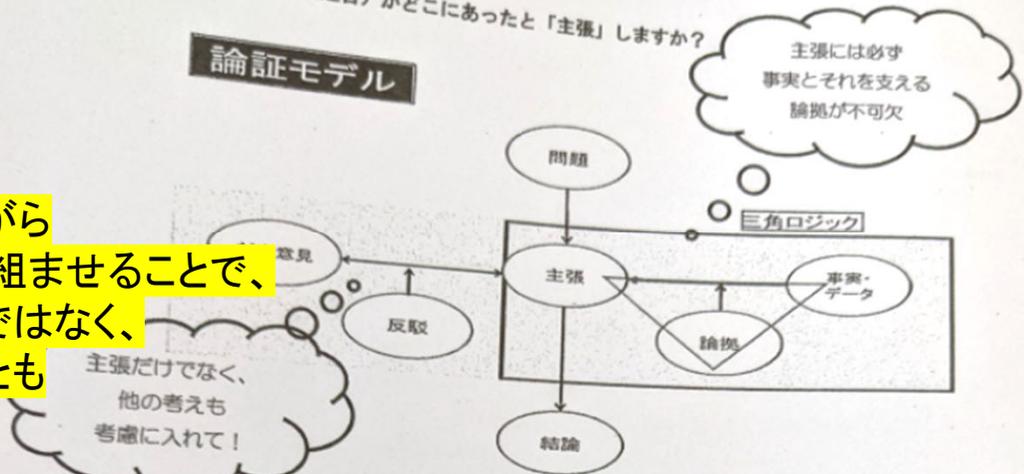
⊕ また、もし本当のことが書かれていたとしても  
九州から毎日20日間も南に行かなければ九州は少くとも

(5) あらためて、あなたの主張は？ (誰もか聴いて納得のいく主張に！)

近畿説

論証モデル

3 あなたは、邪馬台国（連合）がどこにあったと「主張」しますか？



(1) あなたの主張は？ (仮説設定 = 「〇〇〇であると考えて」)

邪馬台国は九州にあり、と考える。

(2) その主張を支える事実・データ・論拠は？ (分析・検証 = 「▲▲▲が理由である」)

近畿説をとりとせ書き直して、その大和の政を  
たがった大連合が出来たことになったから、それと大連合を  
この新説に筆致や管理でまとめたと思えばいいから。

(3) 他説に対する弁明！ (←反駁する = 他の主張や意見に対して論じ返すこと)

※例：自分の主張が「近畿説」で他が「九州説」のとき、九州説ではダメな理由をきちんと説明する！

(= 「たしかに他説は×××だが、◇◇◇という点で、私は〇〇〇と考える」)

たしかに九州説では、福岡から舟で20日間南へ行くと  
言っても合わないから、私は近畿説でも同じで、むしろ近畿説の方が  
自然だ。

(4) ペアで対話！ (検討) ※お互いが同じ主張なら、さらに質の高い内容に仕上げよう！

・月教が合わない。→改題して？ 記述と全別の用紙に書いた方がいい  
・それと政本へのつながり！  
たしかに理由で九州の邪馬台国  
有るのか、近畿説の方が自然だ

(5) あらためて、あなたの主張は？ (誰もか聴いて納得のいく主張に！)

# Cf) 清水書院『Research』(2023.1<sup>st</sup>) 掲載

## ★皆川雅樹の授業探訪⑦

### 「ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業」

内容解説資料 教授用資料

# Research

2023.1st

特集 新課程に向けて  
どんな授業に取り組むか

- ・皆川雅樹の授業探訪⑦  
定期試験の答案返却、どうしていますか? ..... 2
- ・外部開発教材をつかってアクティブ・ラーニング!  
津田沼高校 杉田孝之先生のご授業 ..... 9
- ・皆川雅樹の授業探訪⑦  
ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業 ..... 15
- ・教科書 Research 供給教科書の変更点 ..... 22



清水書院

本社 〒102-0072  
東京都千代田区船田橋3-11-6  
営業部 TEL 03-5213-7151 FAX 03-5213-7160  
編集部 TEL 03-5213-7155 ~6  
大阪支社/札幌営業所/九州出張所  
URL <https://www.shimizuohin.co.jp>

### 皆川雅樹の授業探訪⑦

## ペアで仮説を立て検証する〈日本史B〉の授業

～〈日本史探究〉の文化史学習を刷新する!?～

訪問先：岩手県立盛岡第三高等学校（岩手・公立） ※2022年11月に取材

取材した授業：日本史B

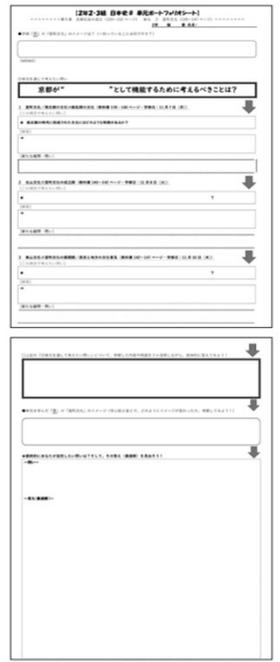
担当教員：古川剣士先生（教員6年目、写真）



◆取材者プロフィール  
皆川 雅樹（みながわまさき）  
産業能率大学経営学部准教授。博士（歴史学）。専修大学・上智大学兼任講師（教職課程）。元専修大学附属高校・法政大学第二高校教諭（地理歴史科）。アクティブラーニングを意識し、ファシリテーション、KP法などを駆使して、授業などの学びの場づくりに取り組む。著書『日本古代王権と唐物交易』（単著、吉川弘文館）、『アクティブラーニングに導くKP法実践』（川嶋直との共編著、みくに出版）、『歴史教育「再」入門』（前川修一・梨子田喬との共編著、清水書院）、『持続可能な学びのデザイン』（編著、清水書院）、『失敗と越境の歴史教育』（宮崎亮太との共編著、清水書院）、『「唐物」とは何か』（河添房江との共編著、勉誠出版）など。  
◎ご感想・ご意見などは下記メールアドレスにお願いします。 MINAGAWA\_Masaki@hjsanno.ac.jp

次に、古川先生が生徒1名を指名し、考えた内容の発表をうながした。「義満は、従来の地位を超越する存在として自身を示すために、金閣を建てた。金閣の1階は貴族をイメージする寝殿造、2階は寝殿造と禅宗様の折衷様、3階は武士をイメージする禅宗様にすることで、武士が貴族の上位にいることを暗示した。また、金閣の最上部にある鳥は鳳凰で、徳の高い君主が天子の位につくと現れる存在であり、継続的に庶の義満が天皇になろうとしていることを示す」（取材者要約）と答えた。「これで授業を終了して良いくらいですね、たくさんのヒントがある意見でした」と古川先生はコメントした。

⑤ 抽足説明と復習ペアワーク（約20分）  
これから、古川先生による補足説明とペアによる学んだことの共有のワークが繰り返される。  
＜補足説明1：鳳凰の意味＞  
金閣の最上部にある鳳凰について、為政者が善政をしたときに現れる鳥として紹介した。また、平安時代の国風文化のところで触れた平等院鳳凰堂を示し、藤原朝通について復習した。  
ここで、ここまで考え学んだ内容について、ペアで共有する時間をとる（約30秒間）。  
＜補足説明2：足利義満の歴史的背景＞  
義満の歴史的背景について、一説として今谷明氏の「王権幕府」説を古川先生は紹介した。また、金閣の3層構造の意味について「1階は金色ではない寝殿造、2階は金色の武家造、3階は金色の中国風の禅宗様、最上部の鳳凰は義満自身を表しているのではない。義満は権力を建物に可視化したものでは、ちなみに、日明貿易のときに義満は明の皇帝から何と呼ばれたか」と生徒に問いかけ、「日本国王」という答えを復習した。  
ここで、ここまで考え学んだ内容について、ペアで共有する時間をとる（約30秒間）。  
＜補足説明3：金閣に見える思想＞  
金閣の1階およびその前の池と、平泉の毛越寺の



【資料1】単元「室町の王権—足利義満の権威設計画—」（中公新書、1990年）、古川先生は、あくまで一説であることを強調していた。

# 実践

## 「聖徳太子らの理想とした政治は どのようなものであったか？」

### 【流れ】

- 授業(講義)を受ける(個)【8分】
- 問いをグループで考察する(協働)【12分】
- その後、ジグソー形式で散らばり、さまざまなグループの見解を学ぶ【5分】
- 持ち帰って、**グループの考察内容を再考する(再協働)**【5分】
- 文章として整理し、ワークシートを提出(個)【10分】



3 グループワーク

(1) グループで問いの答えを考えてみよう!【12分間】

- ・ 仏教を重んじた=天皇中心の政治 → 法隆寺
- ・ 家柄や身分にとらわれずに個人の才能・功績に応じて人々を評価する世界 → 冠位十二階
- ・ 集団の代表は必ず一人であり、その代表に従うべき → 十七条の憲法の十二日く

(2) 他のグループと共有してみよう!【5分間】

- ・ 仏教中心 → 法隆寺建てる  
他の思想の物部氏を滅す etc...
- ・ 対等な関係 → 中国皇帝に臣属しない (ニびない)

十七条の憲法を制定するとき

(3) あらためて、グループに戻って問いの答えを磨いてみよう!【5分間】

聖徳太子は、仏教を重んじた=天皇中心の政治を確立し、冠位十二階などの  
 制度によって家柄や身分にとらわれずに個人の才能・功績に応じて人々を評価する  
 社会を理想とした=政治を行った。

文化借入が多!! → ポリポリ

他のグループ  
との共有を  
通して、自分  
たちの見解を  
磨いていく!  
これが対話を  
する意味!

3 グループワーク

(1) グループで問いの答えを考えてみよう!【12分間】

- ・ 仏教受 - 物部氏との争い、法隆寺
- ・ 優れた人が良い役職につく - 冠位十二階
- ・ 天皇中心の中央集権体制 - 憲法十七条
- ・ 中国から学ぶ1つとニびない、→ 文筆の隆盛

(2) 他のグループと共有してみよう!【5分間】

- ・ 集団の代表を一人に絞る - 十二日く
- ・ 家柄や身分にとらわれない!
- ・ 他国の文化

(3) あらためて、グループに戻って問いの答えを磨いてみよう!【5分間】

・ 仏教を重んじた - 物部氏との争い、法隆寺、憲法)  
 ↳ 仏教の伝来は神道の厳格?

・ 家柄にとらわれない、優秀人材の登用 (冠位十二階)

・ 天皇中心、君主一人の中央集権体制 - 憲法十七条

・ 中国から技術を借り文化を取り入れたため、こびてい  
 → 文筆

# 「学習への深いアプローチ」に対話は不可欠

★溝上慎一『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』

東信堂、2014年（106～110頁参照）

→深いアプローチは、「振り返り」「仮説を立てる」「原理と関連づける」「説明する」「論じる」といった諸活動によってもたらされる。

⇒これらを、個人だけではなく、ペアやグループによる「対話」で行うことで、より一層、学習へのアプローチは深度を増し、いわゆる「ディープ・アクティブラーニング」として生徒に還元することができるのではないか？

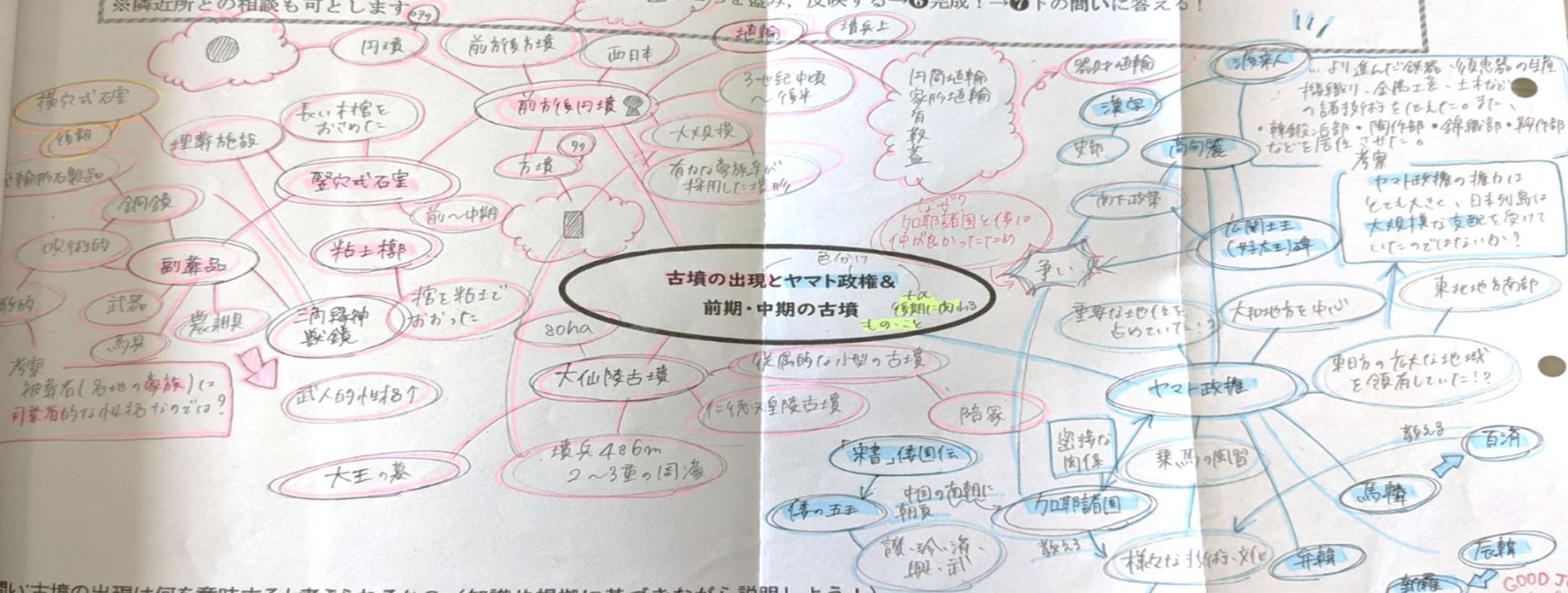
⇒対話型論証の可能性



日本史探究<NO.7> 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 古墳の出現とヤマト政権 / 前期・中期の古墳 (教科書p24~p26)

★今日の問い(テーマ): 古墳の出現は何を意味すると考えられるか? (=アウトプットを意識してインプットしていくこと!)

【流れ】①中央の円内に項目名を書く(済) → ②最初に、太文字(内容を理解するうえで不可欠な用語)を「教科書をきちんと読みながら」書いていく → ③註(注)の内容などの詳細部を書いていく → ④分からなかったところや、深く知りたいことを、教科書や資料集、スマホを活用しながら付け足していく → ⑤他の人の作品を見て良いところを盗み、反映する → ⑥完成! → ⑦下の問いに答える!



問い: 古墳の出現は何を意味すると考えられるか? (知識や根拠に基づきながら説明しよう!)

弥生時代に稲作文化が生まれたことにより、人々の間に富の差が生じた。そんな時代背景を経て、権力を握った人がヤマト政権という中央集権的國家を形成し、その勢力は日本各地に広がったことを示している。

次回、マッピングを提出!  
(ポートフォリオも提出です。よろしく!)

入らないから右上記入

## (2) 対話型論証を展開するうえで不可欠な 「問い」はどのように機能すべきか？

- 学習指導要領「地歴・公民科」でも「問い」が重要視！

→ 歴史総合では、「問いを表現する」活動

日本史探究では、「時代を通観する問い」の設定

世界史探究でも、問いを立て、仮説を設定するなどの学習場面

⇒ 総探でも「問い」を立てて仮説を検証し、分析し、最適解を導き出す  
探究プロセスが設定されている。

➡ 対話型論証と「地歴・公民科」、そして総探との相性は抜群！



# では、「問い」をどう立てるのか？

- ① 6W1H2R1Iの10視点で立ててみる！
- ② 「見方・考え方」を活用して立ててみる！
- ③ 個人の問いだけでなく、ペアやグループで問いを立ててみる！  
→「協働する問い」と換言できる＝対話を自発的に促す仕組み  
⇒対話型論証の展開に繋がる

※前期中間考査でも、生徒に問いを立てさせた！（アナウンス無しで）



(3) 総合的な探究の時間(総探)や各教科・科目において対話型論証はどのように活用可能か？

- 総探で学んだことと、教科で学ぶことを  
リンクさせることが重要！  
(学びはつながっているという感覚を持つ・  
学んだことは他の教科にも応用できる  
という経験を積ませる)



今年度の2学年総探前期の趣旨は...

みなさんの「好きなことやもの」を  
「問い」の形に示して授業をし、  
「対話」を通して聴いている人たちの  
「興味や関心」を惹きだそう！



中心は「あなた」

「問い」の形で社会の興味を惹く

社会



好きなこと



瞳輝くリーダーとしての「あなた」

対話・授業

「共感」的アドバイス

⇒ 「仲間」が増えていく！

独創力

⇒ 共創力 (Co-creation)



# スライドの拠り所は「**教学マネジメント指針**」 (令和2年1月22日・中教審大学分科会)

※25頁参照

「学生は、自らの学修を振り返り、高度化していくとともに、

**自らの学修成果を社会に対して示し、社会とコミュニケーションを  
図る**等の」活動が求められる。

⇒自分の学んだことを、広く社会(友人や家族、地域の人々など、  
仕事仲間)に発信していく力が求められる！



## (2)と(3)から述べたいこと

★教科横断的に、対話型論証モデルは活用できる！  
(勤務される学校の実態に応じて、改変していくイメージ)

→教科横断的な学びを展開するうえで欠かせないことは...

# 「教科横断力」!?

⇒生徒の資質・能力ばかりが議論の的になるが、彼らの資質・能力を育成する過程で、我々教員側の資質・能力もまた、見直されるべき！

まずは、自分の専門領域と親和性が高そうな教科・科目を繋げてみると、授業で実践できるヒントが見つかるかもしれない。



### 3 これから取り組んでみたいこと

★「資質・能力」を「身に付ける」ためにできることは？という問いに対して、**懐疑的な意見が最近見受けられる**ような気がする。

→教科固有の知識や在り方が生徒に伝わらない...などの理由で忌避される。

※そもそも、「資質・能力」(=3つの柱)の中に、「知識・技能」として「知識」が入っているにも関わらず、なぜかそういう議論に陥ってしまう...

⇒しかし、本来的には、**旧来の教育だと生徒がこれから社会をたくましく生き抜いていくために不可欠な力として「資質・能力」の重要性**が議論され、それらを身に付け、高めていくべきだ！となって、学習指導要領の改変等なされたはず...

➡「資質・能力」を「高める」「深める」ためにできることを考えていく

フェーズに今来ている！？



★「資質・能力」(コンピテンシー)は、  
身に付けるというだけの対象から、  
深める・高める・活かす・伸ばすという前提のもと、捉え直されるべき  
だと考える！

→論拠を持って自分(たち)の見解を示すというのは、立派な  
資質・能力の一つ(自分軸の形成・「Student agency」\*)！

このコンピテンシーを伸ばすために、どう探究プロセスを  
対話型論証に接続させていくべきかを構想したい！

\* 溝上慎一「エージェンシーとして理解される二つのライフ  
—OECDの「学習者のエージェンシー」をふまえて—」も参照  
(サイト「溝上慎一の教育論」より〔令和5年5月5日最終閲覧日〕)



## その他には...

- 「問い」のポートフォリオを作成してみたい！  
→ 生徒がどのように「問い」を単元や小項目の学びを通して立てていったのか、問いの質を高めていくうえでも重要な課題になるのでは？  
(形成的な評価に関わる課題でもあるか)

cf) OPPA (1枚ポートフォリオ) は現在実践中...





- **カリキュラム・マネジメント**にどう落とし込めるか？（1つの可能性として）

→1度きりの総探や各教科・科目領域での対話型論証の実践... ×  
学年・学校での組織的な実践として実践...◎

⇒骨の折れることではあるが、  
マクロ的な視座(=カリキュラム・マネジメント)で対話型論証  
を捉え、生徒に体得させる仕掛けが必要。



# さいごに...

★勤務校では「参加型授業」を展開！

コロナ禍が明け、授業公開も随時再開。いつでも参加可です！

→しかし、「AL慣れ」や「AL疲れ」が顕現している現状...

⇒その起爆剤として「対話型論証」の展開！というテーマで授業実践

今後より一層、実践と研究を深めて参ります。  
ご清聴、ありがとうございました！

